

令和5年(2023年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	3	定例	予算特別委員会	企画経営部	企画政策課	大川議員	土地開発公社の長期保有土地について、今後、財政調整基金の減少が見込まれる中、金利上昇圧力の強まりにより、市から公社に払う利子補給金が増加することを見越して、どういった状態になったら買い戻しを選択すべきなのか、リスクに対するプランを検討し留意しておくべきである。	市と公社を総合的に見て、有利な処分を行えるよう、土地開発公社経営健全化計画の見直しを検討し、市による買い戻しや、民間への売却等を進めていく。	答弁に同じ。	未済	今後、市による買い戻しや民間売却を計画的に進められるよう、検討を進めていく。
5	3	定例	予算特別委員会	総務部	総務課	大川議員	行財政経営方針を実現するために、どのように組織基盤を整備しようとしているのか。例えば、課の中で、短いスパンでPDCAを回しながら組織運営することを検討してはどうか。	答弁不要。	令和5年1月に各部長へヒアリングを行った。ヒアリングの結果をふまえ、令和5年度中に組織改正の内容や方針を決定する。	未済	事務の執行体制に関する質問であり、今後、組織運営の中で対応を検討する。
5	3	定例	本会議	市民交流部	医療助成課	梶川議員	子ども医療費助成制度の拡充については、国の動向を注視しつつ財源の確保を見極めたうえで制度拡充を図ること。	国における、少子化対策の動向を注視し、安定かつ継続的な財源確保を踏まえ制度拡充の実現に取り組む。	答弁に同じ。	済	高校生の入院無償化及び乳幼児医療費助成の所得制限撤廃を令和5年度内に実施。
5	3	定例	予算特別委員会	都市安全部	道路建設課	江原議員	(都)競馬場高丸線整備事業については、次工区の仁川清風台工区や(都)山手幹線清風台工区も順次整備していく必要があることから、現認可工区を着実に進めること。また、(都)荒地西山線整備事業(小林工区)については、県事業として千種工区を着手して貰うためにも、現認可工区を認可期間内(令和8年度末まで)に完了すること。	答弁不要。	両事業とも事業スケジュールどおり着実に進められるよう進行管理に努める。	済	
5	3	定例	予算特別委員会	健康福祉部	高齢福祉課	大島議員	事業検証案件である介護ファミリーサポートセンター事業について、「転換(民間事業者への移行)」という方向性が示されているが、市で事業の継続を検討してほしい。	会員への対応、本事業を引き受けることのできる民間事業者の検討、現在の委託事業者とも調整を行った上で、本事業の今後について検討していく。	事業検証で示された方向性に基づき、本事業の今後について検討していく。	未済	事業検証で示された方向性に基づき、本事業の今後について検討する。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	3	定例	予算特別委員会	健康福祉部	せいかつ支援課	大島議員	生活困窮者など生きづらさを抱えた人のために、生活困窮者自立支援法に定める認定就労訓練事業における就労機会の確保をすべく市が認定事業所に対して優先発注をすべきである。伊丹市では優先発注しているため、調査・研究してほしい。	本市では優先発注を行っていない。	現状としては、市内には認定就労訓練事業者は2カ所あり。 生活困窮者の就労訓練の受け入れを進める方策の検討が必要である。 ただ、障害者就労支援に係る優先発注と重なる懸念がある。	未済	今後、伊丹市の取組を調査・研究し検討する。
5	3	定例	予算特別委員会	子ども未来部	子ども政策課	くわはら議員	子どもの意識等に関するアンケート調査において、コロナ禍における家庭環境や学習状況等に関する調査項目を設けるとともに、広く市内の子どもたちの実態や課題を把握するため、前回調査より調査対象を広げて実施してもらいたい。	本年秋頃に国が「こども大綱」を策定する予定であることから、調査項目及び調査対象等については、当該大綱の内容を踏まえ、宝塚市子ども審議会にも諮りながら決定していく。	答弁に同じ。	未済	計画の策定に向けて、こども大綱に関する情報収集を行っているところである。
5	3	定例	本会議	子ども未来部	子ども総合相談課	梶川議員	「あのね」の業務時間外における相談に対して、何らかの対応を検討すべきである。	「あのね」の業務時間外の電話に対して、家庭児童相談課では留守番メッセージを設定し、児童虐待等の緊急時の連絡先(児童相談所虐待対応ダイヤル189)を案内したり、市の委託事業として子育て等の悩み相談を24時間受けるハッピートークたからづかを案内している。 子ども総合相談課では留守番メッセージの設定等を行っていないため、時間外の電話に対する対応を検討していく。	子ども総合相談課における時間外の対応や電話・来所以外での連絡ツールについて、市民からの意見や要望もあるため、可能な限り市民ニーズに合致した対応方法を検討する。	未済	開設から1か月程度の相談状況を踏まえて、相談の利用者、相談内容に応じて最も適切な方法について、早期に改善するよう検討中。
5	3	定例	予算特別委員会	産業文化部	農政課	池田議員	有害鳥獣防除対策事業に係る、報奨金制度について、兵庫県は狩猟期間にシカを捕獲した場合も報奨金を支払うことを検討してほしい。	県、市ともに限られた財源の中、令和5年度については、重複しないよう狩猟期間のシカの捕獲を除き、報奨金を支払う報奨金制度を実施する。次年度以降は、令和5年度の状況を注視する。	答弁に同じ。	未済	答弁のとおり県の報奨金と重複しないよう狩猟期間のシカの捕獲を除いたイノシシ・シカの報奨金制度を開始しており、今年度の狩猟者の制度利用数等を注視していく。
5	3	定例	本会議	管理部	学事課	江原議員	通学区域の整合と小中一貫教育の推進に関する基本方針について、校区をどうするか、小中学校の組み合わせをどうするかなど課題を整理し、小中学校9年間の義務教育の方向性を示してほしい。地域の皆さんの理解も得ながら、ぜひ一歩前に進めて欲しい。	長尾小学校や宝塚第一小学校で、課題について地域と協議している。地域との協議結果も踏まえ、できる限り早期に基本方針を公表したい。	早期に基本方針案を策定し、パブリック・コメントなどで地域の意見や要望を把握し、全学的な課題も整理した上で通学区域の整合と小中一貫教育の推進に関する基本方針を策定する。	未済	令和5年度中に基本方針を策定予定。

令和5年(2023年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	3	定例	本会議	管理部	学事課	村松議員	校区変更は地域に痛みを伴うものである。誰もがその必要性について納得できる推計や計画策定プロセスの説明と相当の覚悟が必要である。教育環境の適正化については全庁的な議論と体制を作ったうえで検討を進めて欲しいと強く要望する。	校区や学校規模については課題があると考えており、小中学校間の校区の整合と小中一貫教育の基本方針の策定が急務である。義務教育9年間で一貫性のある教育活動を推進するには全庁的な校区の整合を図る必要がある、その過程において学校規模の平準化を検討したい。	早期に基本方針案を策定し、パブリック・コメントなどで地域の意見や要望を把握し、全庁的な課題も整理した上で通学区域の整合と小中一貫教育の推進に関する基本方針を策定する。	未済	令和5年度中に基本方針を策定予定。
5	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	くわはら議員	朝鮮学校就学補助金には所得制限がない。就学援助制度の適用範囲を朝鮮学校に拡大し、困窮する世帯のみへの補助に改めるよう検討してほしい。	答弁不要。	阪神各市の動きも踏まえて、本市のあり方を検討する。	済	阪神各市の状況を確認したところ、既に就学援助制度を適用している川西市以外は、現状のとおりとする回答だった。引き続き他市の動向を注視していく。
5	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	たぶち議員	西谷地域で小中一貫教育の推進に関して不安の声がある。地域住民の声をしっかり聞いて、今後の西谷小学校と中学校のあり方を研究してほしい。	地域、保護者、教育委員会で構成する教育環境適正化検討委員会を立ち上げて、西谷地域で何を指すのかの具体策を検討していく。	通学区域の整合と小中一貫教育の推進に関する基本方針の策定と並行して、西谷地域で教育環境適正化検討委員会を開催して検討を進める。	未済	令和5年度中に検討予定。
5	3	定例	予算特別委員会	学校教育部	教育研究課	くわはら議員	全国学力・学習状況調査の学校別の結果公表について、検討してほしい。	学校間の序列化や過度な競争等につながらないように留意しながら、今後も公表の在り方について検討をしていく。	学力調査の結果については、学校間の序列化や過度な競争等につながらないように留意していく必要があるが、校長会と今後の公表の在り方について協議していく。	未済	令和5年度の調査結果が出るまでを目途に、校長会と協議していく。